

報告

平成30年度 北海道医師会・ 北海道保健福祉部・道立病院局 懇談会

常任理事・医療政策部長 笹本 洋一

7月10日(火)に北海道保健福祉部ならびに道立病院局と懇談会を開催した。

はじめに、長瀬会長の開会の後、佐藤保健福祉部長ならびに田中道立病院部長よりそれぞれ挨拶があった。

佐藤保健福祉部長は挨拶の中で、当日の協力に対する謝意の後、本年度は北海道創生総合戦略に掲げる重点プロジェクトを中心に、少子化対策や経済活性化に係る様々な基盤づくりを進めていることなどについて説明があった。全国を上回るペースで高齢化が進んでいる本道においては、道民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、道と医師会とが今まで以上に連携していく必要があると協力を求めた。

また、田中道立病院部長から、道立病院局となつて1年目の平成29年度は、平成28年度とほぼ変わらぬ収支状況であることに加え、本年4月に指定管理者制度を導入し、北見赤十字病院を指定管理者とした道立病院の収益状況が順調であることなどが説明され、その後、意見交換が行われた。

平成30年度 北海道保健福祉部の重点政策【抜粋】

保健医療福祉を取り巻く環境

＜人口減少問題＞

- ◆全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進展
 - ・全国を下回る合計特殊出生率
 - ・全国を上回る高齢化率

＜保健医療福祉分野の課題＞

- ◆少子化の流れを変える本道の地域特性を踏まえた対策を講じること
- ◆今後の人口減少や高齢化に対応した医療や介護サービスの提供体制を構築すること
- ◆地域における医療・福祉サービスを担う人材を確保すること
- ◆地域で支え合う体制を構築すること

平成30年度重点政策のポイント

地域に生じる課題への対応

◎子どもの成長を支える環境づくりと少子化対策の推進

安心して生み育てたいという希望を叶え、子どもの成長を支える環境づくり

◎暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進

地域に必要な医療の確保や健康で安心して活躍できる社会づくり

◎誰もが暮らしやすい社会の構築

誰もが共に支え合い、発展できる社会の構築

◎医療・福祉サービスを担う人材の確保

医療や福祉サービスに必要な人材の確保とキャリア形成の推進

保健医療福祉に係る各種計画の推進

～めざす姿～「安全で安心して心豊かに住み続けることができる活力ある地域社会の形成」(北海道総合計画)



北海道医師会館 9 階理事会室